

学校名：安芸太田町立加計中学校

授業者：山際 紗月

教材作成者：堀内 愛実先生 他

授業日時	令和8年 9月 18日 (金) 4校時	教科・科目	国語科
学年・年次	第3学年	児童生徒数	14人
実施内容	「故郷」 魯迅 竹内好 訳	本時／この内容を扱う全時数	6/7
教科書及び教科書会社	国語3 光村図書		

授業のねらい（本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか）

本単元は、学習指導要領〔C 読むこと エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会などについて、自分の意見をもつこと。〕を受けて、設定する。本教材は登場人物の心情や作者の意図を叙述に着目して考え、時代背景と合わせて読むことで、文学的価値に気づくことができるものである。（言語活動イ）激動する中国の中で、文学の力で民衆の気持ちを変えようとした作者の思いに考えを巡らせ、自分の考えを持たせたい。また、文章や資料に表れているものの見方や考え方と自分の考えを比べたり、他者の考えと比べたりすることによって、自分の考えを広げたり深めたりすることをねらいとする。さらに、〔知識及び技能〕（3）「オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義について理解すること。」と関連を図り、日常の読書活動と結び付け、読書の意義を考えさせたい。

メインの課題（授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題）

作品を通して、作者は読者に何を伝えたいのだろうか？

児童生徒の既有知識・学習の予想（対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出そうか。また、どの点で困難がありそうか。）

本学年は、自分の考えを持つことを苦手とする生徒が多く、Preの段階では14人中3人程度が無解答と予想する。（全国学力・学習状況調査では、短答式と記述式の広島県の無解答率の平均は9.6%に対し、本校の無解答率の平均が26.3%であった。反して、広島県の正答率が51.7%であるのに対し本校の正答率は34.3%であった。）国語が得意な生徒はねらいに近い解答は出せそうだが、時代背景などを踏まえて自分の考えを形成し表現するには困難があると考えられる。また、辛亥革命などの知識は補填をしなければ、当時の時代背景や社会的状況を踏まえて、作品を読むことが難しいと想定する。そのため、単元計画の中に辛亥革命の知識を補填する時間を設けている。

期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれていてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

【社会的事象を踏まえて、叙述を根拠にして自分の考えをもつこと。】

例）作者は多くの人の意識の中に将来への希望を持たせたかったのだと思う。ヤンおばさんやルントウのように時代にしがみついて、変わろうとしないことの批判もしている。今は、結末の描写のように荒れ果てた国でもいつかはまた豊かな国になってほしいという願いを込めている。

例）作者は将来を担う子どもたちへの教訓を伝えたかったのだと思う。ヤンおばさんはルントウのように野放図に生きたり、打ちひしがれて心が麻痺したりするような生活をしないためにも、身分の差や貧富の差などを作らないような社会にしてほしいと願いを込めていると思う。

例) 革命が起きたあとも、自分から行動を起こさない民衆に向かって、行動を促している。文学の力によって、意識改革を行いたかった作者。ルントウやヤンおばさんのように待っていても生活は変わらないことを書き、自分達の力で生活を変えていこうとする行動力が大切であることを伝えたかったのだと思う。

各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞

エキスパート A： 情景描写から結末を考える。

○結末の描写にはルントウが登場しない。過去を振り切ったまっさらな状態からのスタートを表し、「金色の丸い月」に視線が上がっていることで、前向きな気持ちを表している。

エキスパート B： 登場人物から結末を考える。

○若い世代には私たちが経験しなかった、互いに隔絶することのない生活を送ってほしい。その生活はまだ実現困難。

エキスパート C： 作品背景から結末を考える。

○一人だけが希望をもっている意味はない。みんなが同じ方向性で歩んでいくことを希望している。

ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

期末テスト：自分事として考える問題を出題。

「故郷」の直接の題材は、一九一九年の帰郷時の体験から取ったようですが、その根底には作者の「希望」に対する強い気持ちが込められています。当時の中国社会と民衆を換気のできない密室とその中で寝ている人にたとえて、下記のように述べています。

【作者】

いま君が、大声を出して、やや意識のはっきりしている数人の人を起こしても、この不幸な少数の人に「どうせ助かりはしない」という苦しみを与えることになる。

【友人】

しかし、数人が起きたとすれば、その密室をこわす「希望」が絶対がない、とは言えないんじゃないか。

友人の答えに作者ははっとします。作者の「希望」は「故郷」においては、特に次の世代へたくす形で書かれています。将来への希望をたくされたあなたは、どのような生活を送っていきたいですか。次の条件に従って書きなさい。

【条件】

- 1 改行はせず、詰めて書くこと
- 2 百字以上百二十字以内で書くこと
- 3 一文目に送りたい生活内容を書き、二文目から理由を書くこと。

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	・ 本文を通読し、あらすじを捉える。 ・ 登場人物の変化を捉える。	・ 登場人物の相関関係を捉え、昔と現在との関係が異なっていることに気づいている。
前時	・ 昔の慣習から抜け出せない人々（ルントウやヤンおばさん）と新しい関係を築き始めた（ホンルとシュイション）の読み取りをする。	・ 慣習から抜け出せない人々いる反面、新しい関係を持ち出した人物を読み取り、登場人物の役割を考えている。

本時	・ 結末部分を中心に、作者が物語を執筆することで伝えたかったことを資料や叙述を根拠にして考える。	・ 資料や叙述を根拠にして、作者の意図を自分なりの言葉で表そうとしている。
次時	・ ワークやプリントを活用し、資質能力の定着を図る。	・ 読解問題での正答率が 80%以上。
この後	・ 期末テストにおいて、自分事として考える問題を出題。	・ 将来、どのような生き方をしたいか、魯迅や登場人物の言動を根拠にして、自分の考えを述べることができる。

上記の一連の学習で目指すゴール	
将来、どのような生き方をしたいか、魯迅や登場人物の言動を根拠にして、自分の考えを述べる ことができる。	

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	○学習課題の確認をする。	
【課題】 作品を通して、読者に伝えたかったことは何だろう？		
7分	○エキスパート活動 A：描写の視点から結末を考える。 ・「私」にとってルントウは（憧れであり、小英雄）であった。結末ではそのルントウがいない。それは「私」の決別を表している。結末の情景を見ている「私」の心情は（前向き）である。 B：登場人物の視点から結末を考える。 ・（社会秩序の崩壊や身分の差）が原因。「私」の願う「新しい生活」は（身分の差がなく平等な生活。）だが、それは簡単に実現しない。なぜなら、（多くの人々がまだ身分の差や貧富の差で苦しんでいるから。） C：作品背景の視点から結末を考える。 ・みんながあきらめずに、自由で平等な社会を目指していけば、実現する可能性がある。	※各資料に必要なルビを振り、考えの形成の時間を確保する。 ※本時まで、本文を読み込ませ、「私」にとって「ルントウ」がどんな存在だったのか、捉えさせておく。 ※本時まで、登場人物の生活がどのようなものなのか（どんな生き方なのか）、簡単に触れておく。また、「ルントウ」と「私」の間の「悲しむべき厚い壁」について押さえておく。 ※本時まで、辛亥革命と当時の中国国民の様子について学習しておく。
13分	○ジグソー活動 ・革命後、新しい生活のスタートが切れるチャンス。古い風習を捨て、みんなで国を作ろう。みんなでやればできる。逆にみんなでやらなければ何も変わらない。立ち上がろう。	※場合によっては、早めにクロストークに移る。 他のグループの考えを聞いて、ジグソー班で考えるなどファシリテートする。
10分	○クロストーク	
10分	○個人思考	
【期待する解答例】 革命が起きたあとも、自分から行動を起こさない民衆に向かって、行動を促している。文学の		
	○振り返り	

グループの人数や組み方	
エキスパート	3人×2班・4人×2班
ジグソー	3人×2班・4人×2班

エキスパートA 《描写》の視点から「結末」を読む

まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空には、金色の丸い月が懸^つかっている。思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。

次の二つの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（ワークシート1の復習です。）

【思い出】

このとき、突然私の脳裏に不思議な画面が繰り広げられたー紺碧の空に、金色の丸い月が懸かっている。その下は海辺の砂地で、見渡すかぎり緑のすいかが植わっている。その真ん中に、十一、二歳の少年が、銀の首輪をつるし、鉄の刺叉を手にして立っている。

【結末部分（現在）】

まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空には、金色の丸い月が懸かっている。

【ジグソーで伝えること】

問…なぜ、ルントウは結末部分の描写からいなくなったのだろうか？（ ）の言葉を考えて書きましよう。また、情景描写から「私」の心情を考えましよう。

○「私」にとって、ルントウは（①）であつた。そのルントウが結末部分の描写からいなくなっているということは、「私」の故郷への（②）を表している。結末部分（現在）では「私」の視線が「海辺」→「砂地」→「紺碧の空」→「金色の丸い月」と上に移り変わっていることや「金色の丸い月」を見ている「私」の心情は……

※授業で考えた内容よりもっと詳しくエキスパートで考えてみよう。

エキスパートB 《登場人物》の視点から「結末」を読む

まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空には、金色の丸い月が懸かっている。思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(ワークシート4の復習です。)

私も横になって、船の底に水のぶつかる音を聞きながら、今、自分は、自分の道を歩いているとわかった。思えば私とルントウとの距離は全く遠くなったが、若い世代は今でも心が通い合い、現にホニルはシュイションのことを慕っている。せめて彼らだけは、私と違って、互いに隔絶することのないように……とはいっても、彼らが一つ心でいたいがために、私のように、むだの積み重ねで魂をすり減らす生活を共にすることは願わない。また、ルントウのように、打ちひしがれて心が麻痺する生活を共にすることも願わない。また、他の人のように、やけを起こして野放図に走る生活を共にすることも願わない。希望をいえば、彼らは新しい生活をもたなくてはならない。私たちの経験しなかった新しい生活を。

【ジグソーで伝えること】

問1:「ルントウ」や「他の人」が送っていた生活の原因は何ですか?また、「私」の希望する「新し

問2:「新しい生活」は簡単に実現すると思いますか?本文の内容を根拠にして班のみんなで考え(本文に線を引くのも可)、簡単か簡単ではないか、○をつけましょう。

理由

簡単 ・ 簡単ではない

エキスパートC 《作品背景》の視点から「結末」を読む

まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空には、金色の丸い月が懸かっている。思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

〈執筆当時の中国の様子〉「辛亥革命」の復習内容です。

「辛亥革命」は、清という王朝を終わらせて新しく「中華民国」という国を作った大きな出来事だ。しかし、この革命でいきなり、国民の生活が変わったわけではなかった。革命後、皇帝がいなくなると長く続いていた「身分制度」も大きく揺れ、「みんなは平等だ」という考えが広まった。ただ、すぐにすべての人たちが平等になったわけではなかった。地方ではまだ、地主（お金持ち）が力をもっていたり、昔のように身分の差を感じたりしながら生活していた人も多かった。そのため農民の多くは変わらない日々を過ごしていた。女性や子どもの暮らしも同様だった。農村部では伝統的な考えが強く残っていて、まだ古い制度に縛られた生活をしている女性や子どもも多かった。革命で「平等で自由な生活」が掲げられたが、現実では安心して生活することさえ難しい時代が続いていた。

「呐喊自序」より

魯迅は、「故郷」を含む作品集「呐喊自序」という作品で「希望」についてこう書いている。中国の人々の考え方を変えていくために文章を勧める友人に、魯迅は何も変わろうとしない民衆に皮肉を込めて「鉄でできた部屋で熟睡している大勢の人のうち数人の目を覚まさせたところで、その数人に、結局は死んでいく苦しみを与えるだけではないか。」と応えた。

すると友人は「しかし、数人が起きれば、鉄の部屋を壊すという希望が全くないとは言い切れないのではないか。」と反論した。それを聞いた魯迅は、人々の精神を変えるために、文章によって中国国民に発信し続ける決意を固めた。

竹内好訳 『阿Q正伝・

【ジグソーで伝えること】

○「呐喊自序」は作者が1922年に執筆した短編集「呐喊」の序文で、個人的体験を通じて国民の精神改造を目指す創作動機（きっかけ）を述べた文章です。

問…歩く人が多くなれば、それが道になるのだとありますが、どういう意味ですか？

作者は、辛亥革命後もまだ古い制度に縛られて生活していることを「呐喊自序」で「鉄の部屋で熟睡」と喩えている。その状況を変えるには数人が起きれば鉄の部屋を壊す希望が全くないとは言い切れないと友人に言われた。これらを踏まえて、―線部を考えると…

Pre 記述

() 番 氏名 ()

課題) 作品を通して、作者は何を伝えたいのだろうか？

A large, light blue rectangular area with rounded corners and a small tab on the right side, containing five horizontal dashed lines for writing.

Post 記述

課題) 作品を通して、作者は何を伝えたいのだろうか？

A large, light blue rectangular area with rounded corners and a small tab on the right side, containing five horizontal dashed lines for writing.

授業研究のための見とりの観点シート

本時特に育成したい資質・能力	この授業の中で期待する資質・能力の発揮のされ方	資質・能力が発揮された姿の具体例（発言など）
情報収集力【主にエキスパート活動中】	各エキスパート資料から、内容を読み取り、必要なことを整理し、まとめることができる。	A 回想シーンにいた小英雄のルントウの姿はないが、情景の紺碧の空に金色の丸い月は現在も変わらずある。「私」の視線が下から上に向かっていることからそれは、希望の光を示していると言える。 B 身分の差や貧富の差が原因で望まない生活を送っていた「私たち」みんなが平等な生活を送れるようになってほしい。「私」の願う「新しい生活」身分の差がある限りはそう簡単には実現しないと思う。 C 国民全員が平等で安心して暮らす時代を実現させるためには、みんながそれを臨むことが大事で、その希望を叶えるためには、みんなが同じ方向を向いて行動してほしいことを希望している。
知識・情報活用能力【主にジグソー活動中】	それぞれの資料や活動で得た、知識や情報を組み合わせ、課題に対する答えを導き出すことができる。	A・Bから故郷（中国）にはまだ生活が変わる希望が残っている。それは、次の世代に託そう。 B・Cから身分の差がなく平等に暮らす希望が残っている。次の世代にはそんな生活を送ってほしい。それを叶えるには、みんなが同じ方向を向いて行動することが大切だ。 A・Cから故郷（中国）は、まだ古い制度が残っているが、新しい生活へと変わる希望がまだある。みんなで生活を変えていこう。
協調問題解決能力	他者の説明に対して、分からないことを質問し、確認できる。 他者からの質問に対して、相手に分かるように説明できる。	「ここはどういうこと？」「〇〇って書いてあるけど、△△ってことじゃない？」「もう一度説明して？」「どこからそう考えたの？」 「ここに～って書いてあるから△△なんだよ。」「わかったことを説明してみて？」「ジグソーのときにどう説明する？」
思考力・判断力・表現力 【C 読むこと エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会などについて自分の意見をもつこと】	自分の考えをまとめるときに、情景描写の視点と登場人物の視点と作品の背景の視点から説明することができる。	① 作者は多くの人の意識の中に将来への希望を持たせたかったのだと思う。ヤンおばさんやルントウのように時代にしがみついて、変わろうとしないことの批判もしている。今は、結末の描写のように荒れ果てた国でもいつかはまた豊かな国になってほしいという願いを込めている。 ② 作者は将来を担う子どもたちへの教訓を伝えたかったのだと思う。ヤンおばさんはルントウのように野放図に生きたり、打ちひしがれて心が麻痺したりするような生活をしないためにも、身分の差や貧富の差などを作らないような社会にしてほしいと願いを込めていると思う。 ③ 革命が起きたあとも、自分から行動を起こさない民衆に向かって、行動を促している。文学の力によって、意識改革を行いたかった作者。ルントウやヤンおばさんのように待っていても生活は変わらないことを書き、自分達の力で生活を変えていこうとする行動力が大切であることを伝えたかったのだと思う。